

報道関係各位

2019年7月31日

2019年3月期第1四半期決算(IFRS)を発表

- LWT 事業、特に海外での戦略的マーケティング投資が増収をけん引
- 事業利益が大幅に減少するも、減少の3分の2については想定通り。利益率向上に向けた施策を着実に実行

株式会社 LIXIL グループ（本社：東京都千代田区、社長：瀬戸欣哉、以下 LIXIL グループ）は本日、2019年3月期第1四半期の決算^{※1}を発表しました。

LIXIL グループ社長兼 CEO 瀬戸欣哉のコメント

「海外でのマーケティング投資が奏功し、増収を達成するなど着実に戦略を推進していますが、一方で、事業利益は大幅に低下し、当社が依然大きな課題に直面していることも明らかとなりました。事業利益低下の約3分の2は、国内の新取引制度や新組織体制の導入に伴うコスト増や海外でのマーケティング投資といった、当初の計画で想定していた要因によるものです。これらの施策の推進は短期的に業績に影響を与えるものの、中長期的には当社がさらなる成長を続けるために非常に重要です。意思決定の迅速化や事業運営の効率化につながるとともに、取引制度の改定等の取り組みによって継続的な利益率の低下を防ぐことができると考えています。一方、事業利益低下の残りの3分の1は、新取引制度の導入に伴う人件費増、そして商品ミックスの変化といった計画外の要因によるものです。こうした課題の解決に向けて、更なる自助努力として生産性向上、コスト削減を通じた収益性の改善に努め、体質の改善を加速させていきます」

決算の概要

2019年3月期第1四半期の売上収益は、継続事業ベース^{※1}で前年同期比 1.1%増の 3,971 億円となりました。国内事業は、1月～3月の新設着工件数が落ち込んだものの、前年同期と同水準の売上を維持し、浴室・キッチンなどの水まわり製品の売上が好調でした。海外事業は、戦略的なマーケティング投資と新規ビジネスの拡大により、計画通りに推移し、増収を達成しました。

事業利益^{※2}は、継続事業ベースで、前年同期比 65.1%減の 66 億円となりました。これは主に、2018年4月に国内で導入した新取引制度への対応に伴う要因によるもので、LIXIL Housing Technology (LHT)と LIXIL Water Technology (LWT)の両方に影響しました。LHTは、コスト管理の向上に取り組んでいるものの、前年度第4四半期に引き続き1月～3月の国内新設着工件数の落ち込みによる影響を受けました。また、LWTの国内事業は、商品ミックスの変化や組織変更に伴う負担増により、減益となりました。海外事業も減益となりましたが、これは将来の成長に向けた先行投資として、戦略的にマーケティング投資を行ったことによるもので、計画通りに推移しています。

非継続事業を含む四半期利益^{※3}は、事業利益の減少を受けて、31 億円となりました。

※1 売上収益、事業利益ともに継続事業ベース。2017年8月の Permasteelisa の株式譲渡決定を受け、同社および同社子会社の事業を非継続事業に分類。

※2 IFRS の事業利益は、日本会計基準 (JGAAP) の営業利益に相当。

※3 親会社の所有者に帰属する四半期利益。

主要施策

- 利益率低下の根本的な解決に向けて、2018年4月に、国内市場向けの新取引制度を導入しました。
- 2021年までに事業利益273億円の改善に向け、国内の組織、生産、商品・サービスの分野を包括的にカバーし、生産性向上を目指す主要施策を導入していきます。
- 海外市場で提供する商品・サービスの差別化に向けて、アジア太平洋地域の主要市場への投資を実行。中国・常州と上海、およびベトナム・ハノイにショールームを開設しました。
- 事業ポートフォリオの最適化と事業構造の簡素化を継続的に進め、傘下の株式会社LIXIL鈴木シャッターの全株式を三和ホールディングス株式会社に譲渡することを決定しました。
- LHTは、TOSTEMブランドの差別化商品として「LW（エルダブリュー）」を2018年8月に発売するほか、インド市場におけるサッシ事業を強化するなど、引き続き戦略的な取り組みを実行しました。
- ユニセフと「シェアードバリュー・パートナーシップ」を締結し、世界の子どものための衛生環境の向上に向けたグローバルな連携体制を構築していきます。

2019年3月期第1四半期業績

(単位:億円)

売上収益	事業利益	事業利益率
LIXIL Water Technology (LWT)		
1,980	120	6.0%
(+2.7%)	(-27.1%)	(-2.5pt)
LIXIL Housing Technology (LHT)		
1275	26	2.0%
(-1.7%)	(-63.1%)	(-3.3pt)
LIXIL Building Technology (LBT)		
233	-12	-
(+6.3%)	-	-
流通・小売り事業 (D&R)		
435	23	5.4%
(-1.0%)	(-8.3%)	(-0.4pt)
住宅・サービス事業等(H&S)		
123	5	4.0%
(+7.6%)	(+11.0%)	(+0.2pt)

【関連資料】

>2019年3月期第1四半期決算
説明資料



>2019年3月期第1四半期決算短信

■LIXILについて

LIXILは、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEMをはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在70,000人超の従業員を擁し、世界150カ国以上で事業を展開するLIXILは、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で10億人以上の人びとの暮らしを支えています。

LIXILなどのブランドを展開する、株式会社LIXILグループ（証券コード: 5938）は、2018年3月期に1兆6,648億円の連結売上高を計上しています。

LIXILについて：www.lixil.com/jp、<https://www.facebook.com/lixilcorporation/>